

6ヵ月～4歳のお子さ

接種回数とスケジュール

6ヵ月～4歳のお子さまは初回免疫として新型コロナワクチンを**3回接種する必要**があります。1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を、その後少なくとも8週間経過した後、3回目の接種を受ける必要があります。

1回目の接種から3週間、2回目の接種から8週間を超えた場合には、出来る限り速やかに次の接種を受けるようにしてください。

追加免疫(4回目)の接種は受けられませんので、ご注意ください。



安全性(副反応)について

ワクチン接種後(特に、接種直後～数日間)はお子さまの体調に注意しましょう。

下記のような症状や、いつもと違う体調の変化や異常があれば、接種を受けた医療機関等の施設の医師、看護師またはかかりつけ医へ相談してください。

起こるかもしれない重い症状 (頻度不明)

起こるかもしれない重い症状は、5～11歳と、6ヵ月～4歳では大きな違いはありません。

● ショック・アナフィラキシー

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内に以下の症状があらわれた場合、ショック、アナフィラキシーの疑いがあります。

- 皮膚症状: 皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑、皮膚の発赤 など
- 消化器症状: 腹痛、吐き気 など
- 視覚症状: 視覚の異常
- 呼吸器症状: 声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ など
- ショック症状: 蒼白、意識混濁 など

まの保護者の方へ

本ワクチンの接種を受けた後しばらくの間は、接種を受けた医療機関等の施設でお待ちいただき、これらの症状がみられた場合には、**ただちに**、接種会場となる医療機関等の施設の医師、看護師等に伝えてください。

● 心筋炎、心膜炎

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、心筋炎、心膜炎の疑いがあります。

症状：胸の痛み、動悸、むくみ、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い

これらの症状が認められた場合には、**速やかに**医師の診察を受けてください。

起こるかもしれない体の症状（接種を受けた方の5%以上に起こったもの）

6ヵ月～4歳のお子さまは、ワクチンを受けた後、次のような症状が出るといわれています。5～11歳のお子さまとは症状の訴え方が異なりますので、ご注意ください。

注射した部位の痛み、腫れ、発赤・紅斑

眠気、頭痛、イライラ

食欲衰退、下痢、嘔吐

筋肉痛

疲労、発熱、悪寒

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

注射した部位の痛みの多くは接種翌日にあらわれ、持続期間は約1日でした。

その他の症状の多くは接種翌日～5日ほどであらわれ、持続期間は約2日でした。

これらの症状は、通常、数日以内に治まります。なお、病気治療中の方で解熱消炎鎮痛剤などを使用される場合は、主治医・薬剤師に服用についてご相談ください。また、ひどい痛み・腫れ、高熱など重い症状と思われる場合は、医師の診察を受けてください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に

新型コロナワクチンについて

新型コロナワクチン(コミナティ:以下、本ワクチン)は特例承認*されたものです。また、新型コロナウイルス感染症の予防や副反応について得られている情報は限られています。本ワクチンの接種を受ける前に、接種担当の医師等から本ワクチンの説明を受けてください。

※特例承認とは外国で本ワクチンが既に対象となる疾患の予防に用いられていることを条件に、国民の生命および健康に重大な影響を与えるおそれのある病気のまん延等を防止するための緊急の使用が必要な医薬品について、厚生労働大臣が、専門家の意見を聴いた上で通常の承認の要件を満たさない場合でも承認が可能となる制度です。

本ワクチンの接種事業について

- 本ワクチンの接種は国および地方自治体による新型コロナウイルスワクチン接種事業の一環として行われます。
- 本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。
- 本ワクチンは6ヵ月以上11歳以下の方が対象です。
- 本ワクチンの接種に際し、接種対象者またその保護者は、予診の際に本ワクチンの有効性・安全性、本ワクチン接種後の副反応および予防接種健康被害救済制度について説明を受けた後に、接種の実施について文書(予診票)による同意が必要となります。
- 本ワクチンの接種会場となる医療機関等の施設、必要となる持ち物、その他の詳しい情報については、お住まいの自治体からの案内をご確認ください。また、ご不明な点があれば、お住まいの各自治体へお問い合わせください。

関して保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチン接種にあたっての注意点

6か月～4歳のお子さまと、5～11歳のお子さまでは、**接種回数やスケジュールなどが異なりますので、ご注意ください。**

(各年齢ごとの接種回数とスケジュールは2ページ、6ページに記載しておりますので、併せてご確認ください。)

① 年齢により**初回免疫の接種回数と、追加免疫の接種を受けられるかが異なります**ので、ご注意ください。

年齢	初回免疫の接種回数	追加免疫の接種
5～11歳	2回	接種可能です(3回目のみ)
6か月～4歳	3回	接種できません

② 年齢により**推奨される接種スケジュールも異なります**ので、ご注意ください。

初回免疫

年齢	初回免疫の接種スケジュール
5～11歳	・1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください
6か月～4歳	・1回目の接種後、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください ・2回目の接種後、少なくとも8週間経過した後、3回目の接種を受けてください

(定められた接種間隔を超えた場合には、出来る限り速やかに次回の接種を受けてください)

追加免疫

年齢	追加免疫の接種スケジュール
5～11歳	・2回目の接種から少なくとも5ヵ月経過した後に、追加免疫としての3回目接種を受けることができます
6か月～4歳	・追加免疫の接種を受けられません

追加免疫の接種については、各自治体からの案内をご確認ください。

③ 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も本ワクチンの接種を受けてください。
6か月～4歳の方は3回目も、本ワクチンの接種を受けてください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に

本ワクチンの接種が受けられないお子さま

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。

該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ① 明らかに発熱している方
- ② 重い急性疾患にかかっている方
- ③ 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある方
- ④ 上記以外で、予防接種を受けることが不適切な状態にある方

本ワクチンの接種にあたって注意が必要となるお子さま

下記にあてはまる方は、本ワクチンの接種について注意が必要です。

該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ① 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ② 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ⑤ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑥ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑦ 腎機能障害のある方
- ⑧ 肝機能障害のある方

6ヵ月未満の方に対する有効性・安全性はまだわかっていません。